

## チェーンソーを大きくするだけで生産性が向上

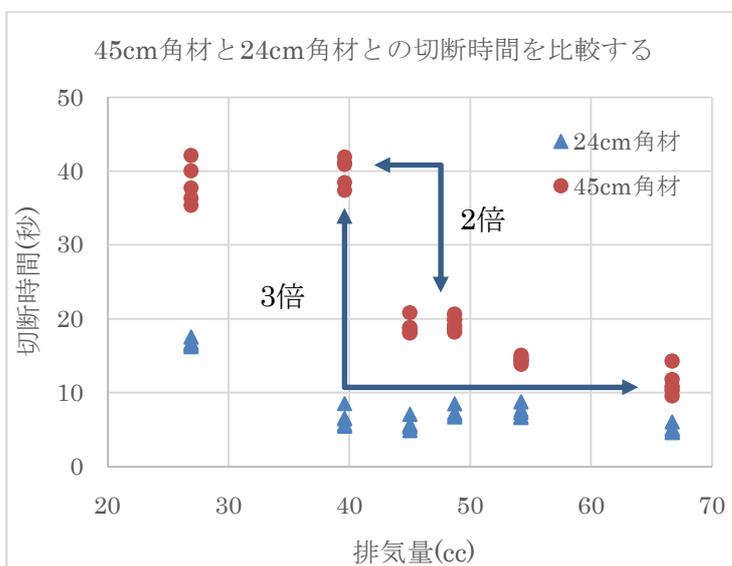
- 排気量が大きく、バーの長いチェーンソーは大径木の伐採に有効。
- 40 cc以下の機種と 60cc以上の機種では伐採時間の差が最大3倍に。
- バーの長さいっぱいを使うと切削時間が長くなる。

### 概要

林業機械の中で最も身近なチェーンソーを効率的に使うため、チェーンソーの排気量別に生産性の調査を行いました。

27～66 ccの7機種を用いて、幅の異なる角材を切断してその時間を調べたところ、30 cc以下の小型機は、24cm幅角材の切断でも切断時間が長いこと、50 cc以上の大型機では45 cm幅角材でも短い切削時間で切ることができました。切断時間の違いを見ると、45cm幅角材では大型機と小型機で3倍の差があり、大きい木を伐採するときは大型機のほうが有利であることが示唆されました。

またバーサイズと切削時間の関係を見ると、短いバーを先端まで使って伐採すると、バーの一部を使って伐採する場合の2倍の時間がかかっていました。



### まとめ

チェーンソーによる伐採は、木材生産を行う現場では最も主流の方法です。今回の調査では、伐採する立木の大きさに合わせたチェーンソーを使用することが有効であることがわかりました。



詳しくは <http://blog.nagano-ken.jp/mori/ringyosogo/7136.html>

担当者 指導部 高野毅